

今後のまちづくりのための
「市民アンケート」

集計結果

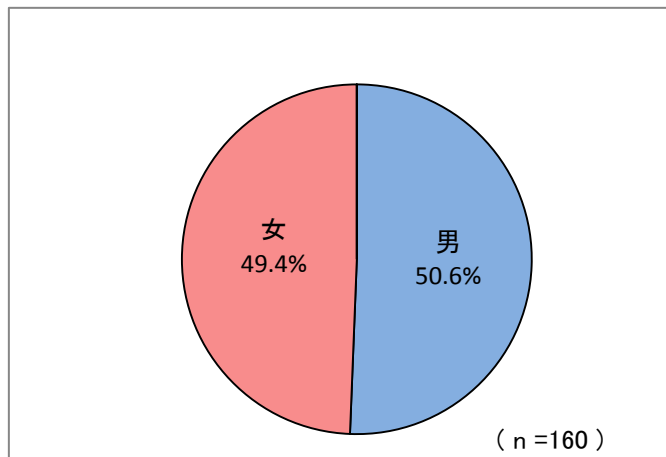
【 荒川地区 】

1. あなたご自身のことについて、おたずねします。 【それぞれ1つだけ選択】

問1 性別

男性が50.6%、女性が49.4%とわずかに男性の方が多い。

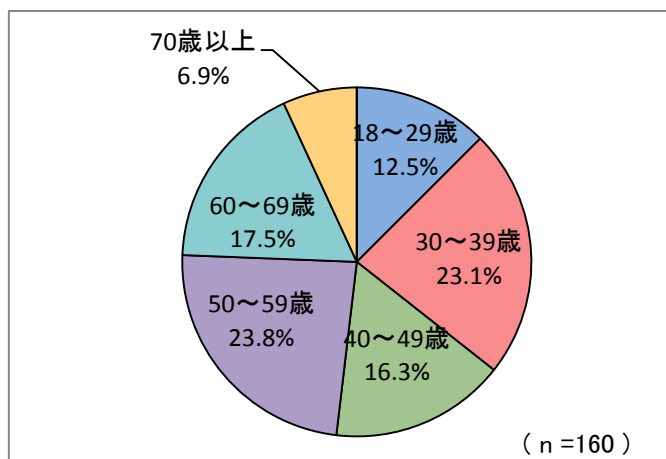
選択肢	回答数	割合
1. 男	81	50.6%
2. 女	79	49.4%
無回答	0	0.0%
計	160	100.0%



問2 年齢

「50～59歳」が23.8%で最も多く、次いで「30～39歳」の23.1%であった。

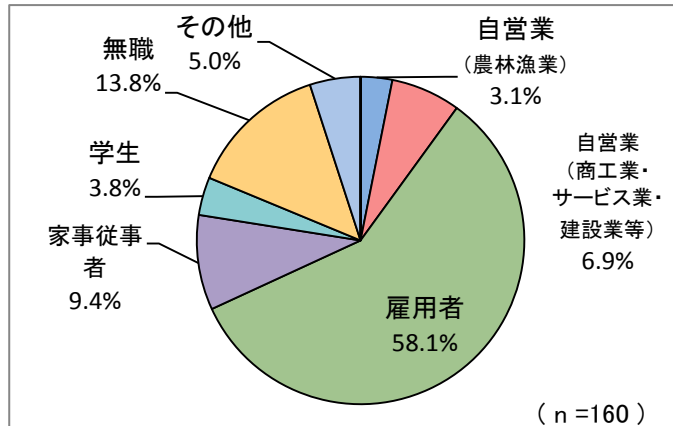
選択肢	回答数	割合
1. 18～29歳	20	12.5%
2. 30～39歳	37	23.1%
3. 40～49歳	26	16.3%
4. 50～59歳	38	23.8%
5. 60～69歳	28	17.5%
6. 70歳以上	11	6.9%
無回答	0	0.0%
計	160	100.0%



問3 職業

「雇用者」が最も多く50%以上を占め、次いで「無職」(13.8%)が多い。

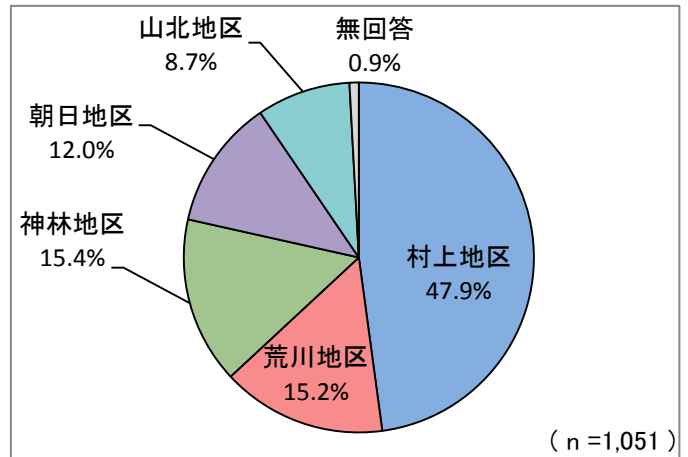
選択肢	回答数	割合
1. 自営業(農林漁業)	5	3.1%
2. 自営業(商工業・サービス業・建設業等)	11	6.9%
3. 雇用者	93	58.1%
4. 家事従事者	15	9.4%
5. 学生	6	3.8%
6. 無職	22	13.8%
7. その他	8	5.0%
無回答	0	0.0%
計	160	100.0%



問4 居住地区

「村上地区」が47.9%と約半数を占め、次いで「神林地区」（15.4%）、「荒川地区」（15.2%）となっている。

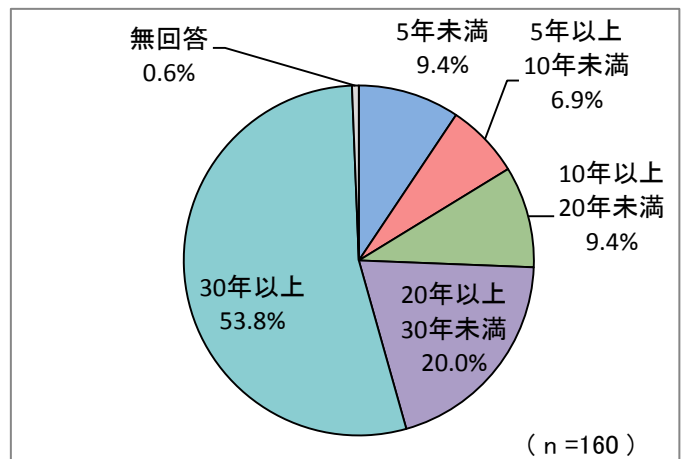
選択肢	回答数	割合
1. 村上地区	503	47.9%
2. 荒川地区	160	15.2%
3. 神林地区	162	15.4%
4. 朝日地区	126	12.0%
5. 山北地区	91	8.7%
無回答	9	0.9%
計	1,051	100.0%



問5 居住年数

「30年以上」が53.8%と最も多く、次いで「20年以上30年未満」（20.0%）となっている。

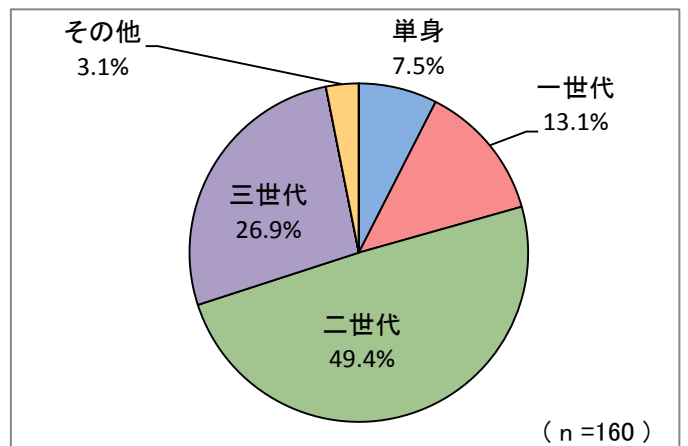
選択肢	回答数	割合
1. 5年未満	15	9.4%
2. 5年以上10年未満	11	6.9%
3. 10年以上20年未満	15	9.4%
4. 20年以上30年未満	32	20.0%
5. 30年以上	86	53.8%
無回答	1	0.6%
計	160	100.0%



問6 家族構成

「二世代」が49.4%と最も多く、次いで「三世代」（26.9%）となっている。

選択肢	回答数	割合
1. 単身(1人暮らし)	12	7.5%
2. 一世代(夫婦のみ)	21	13.1%
3. 二世代(親と子)	79	49.4%
4. 三世代(親と子と孫)	43	26.9%
5. 兄弟姉妹	0	0.0%
6. その他	5	3.1%
無回答	0	0.0%
計	160	100.0%



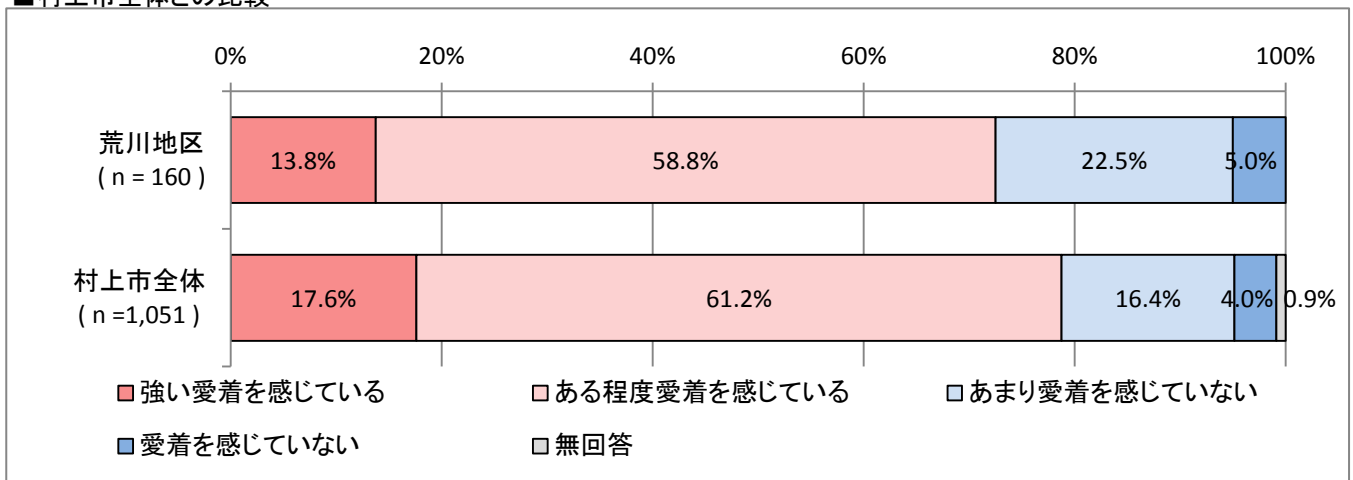
2. 村上市での住み心地について、おたずねします。

問7 村上市に愛着を感じていますか？ 【1つだけ選択】

「ある程度愛着を感じている」が58.8%と最も多く、次いで「あまり愛着を感じていない」(22.5%)が多くなっている。
 村上市全体と比較すると、「あまり愛着を感じていない」が多く、愛着を感じている人が少なくなっている。

選択肢	回答数	割合
1. 強い愛着を感じている	22	13.8%
2. ある程度愛着を感じている	94	58.8%
3. あまり愛着を感じていない	36	22.5%
4. 愛着を感じていない	8	5.0%
無回答	0	0.0%
計	160	100.0%

■村上市全体との比較

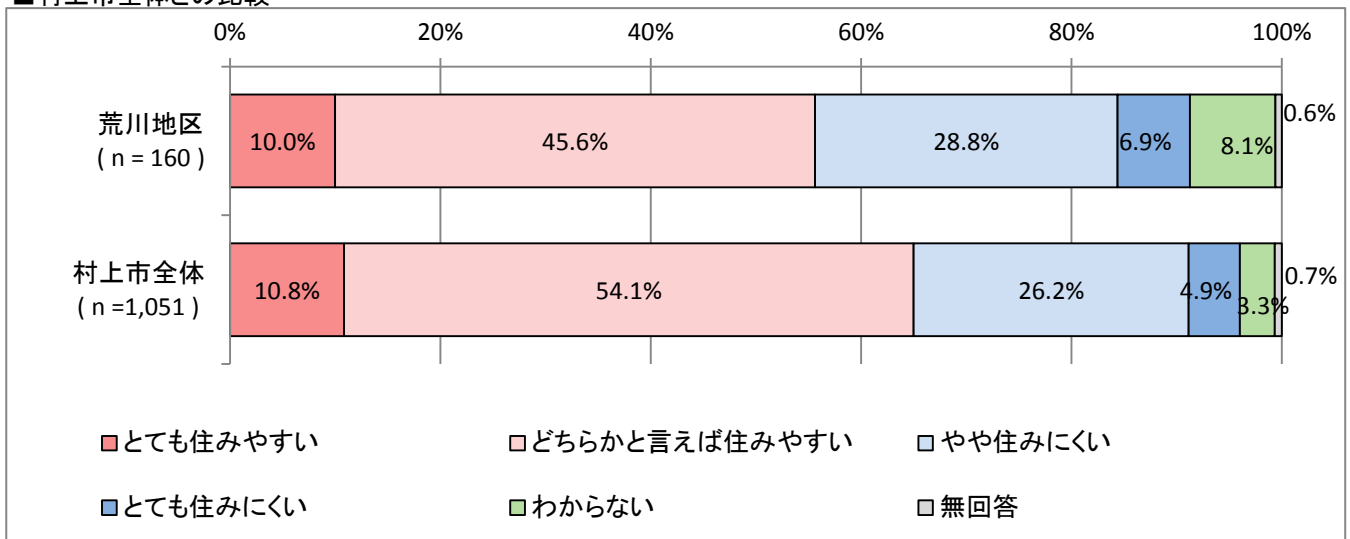


問8 村上市は住みやすいと思いますか？ 【1つだけ選択】

「どちらかと言えば住みやすい」が45.6%と最も多く、次いで「やや住みにくい」(28.8%)が多い。
 村上市全体と比較すると、住みやすいと感じている人の割合が少なくなっている。

選択肢	回答数	割合
1. とても住みやすい	16	10.0%
2. どちらかと言えば住みやすい	73	45.6%
3. やや住みにくい	46	28.8%
4. とても住みにくい	11	6.9%
5. わからない	13	8.1%
無回答	1	0.6%
計	160	100.0%

■村上市全体との比較

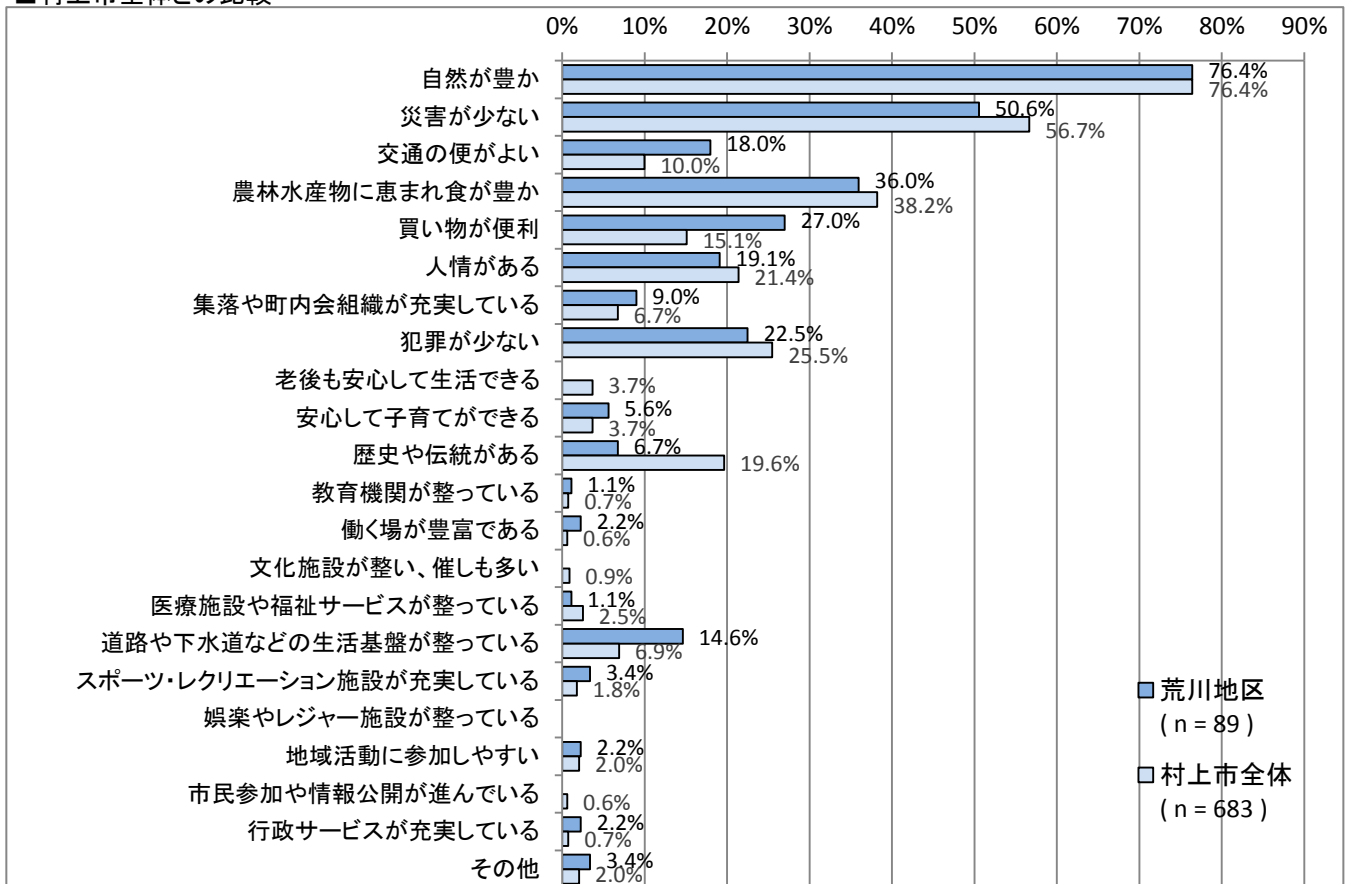


問9 住みやすいと感じる理由 【3つまで選択】 (問8で1または2を選択した方のみ)

最も多いのが「自然が豊か」であり、次いで「災害が少ない」、「農林水産物に恵まれ食が豊か」となっている。
 村上市全体と比較すると、「買い物が便利」が多く、「歴史や伝統がある」が少なくなっている。

選択肢	回答数	割合
1. 自然が豊か	68	76.4%
2. 災害が少ない	45	50.6%
3. 交通の便がよい	16	18.0%
4. 農林水産物に恵まれ食が豊か	32	36.0%
5. 買い物が便利	24	27.0%
6. 人情がある	17	19.1%
7. 集落や町内会組織が充実している	8	9.0%
8. 犯罪が少ない	20	22.5%
9. 老後も安心して生活できる	0	0.0%
10. 安心して子育てができる	5	5.6%
11. 歴史や伝統がある	6	6.7%
12. 教育機関が整っている	1	1.1%
13. 働く場が豊富である	2	2.2%
14. 文化施設が整い、催しも多い	0	0.0%
15. 医療施設や福祉サービスが整っている	1	1.1%
16. 道路や下水道などの生活基盤が整っている	13	14.6%
17. スポーツ・レクリエーション施設が充実している	3	3.4%
18. 娯楽やレジャー施設が整っている	0	0.0%
19. 地域活動に参加しやすい	2	2.2%
20. 市民参加や情報公開が進んでいる	0	0.0%
21. 行政サービスが充実している	2	2.2%
22. その他	3	3.4%
計	268	

■村上市全体との比較

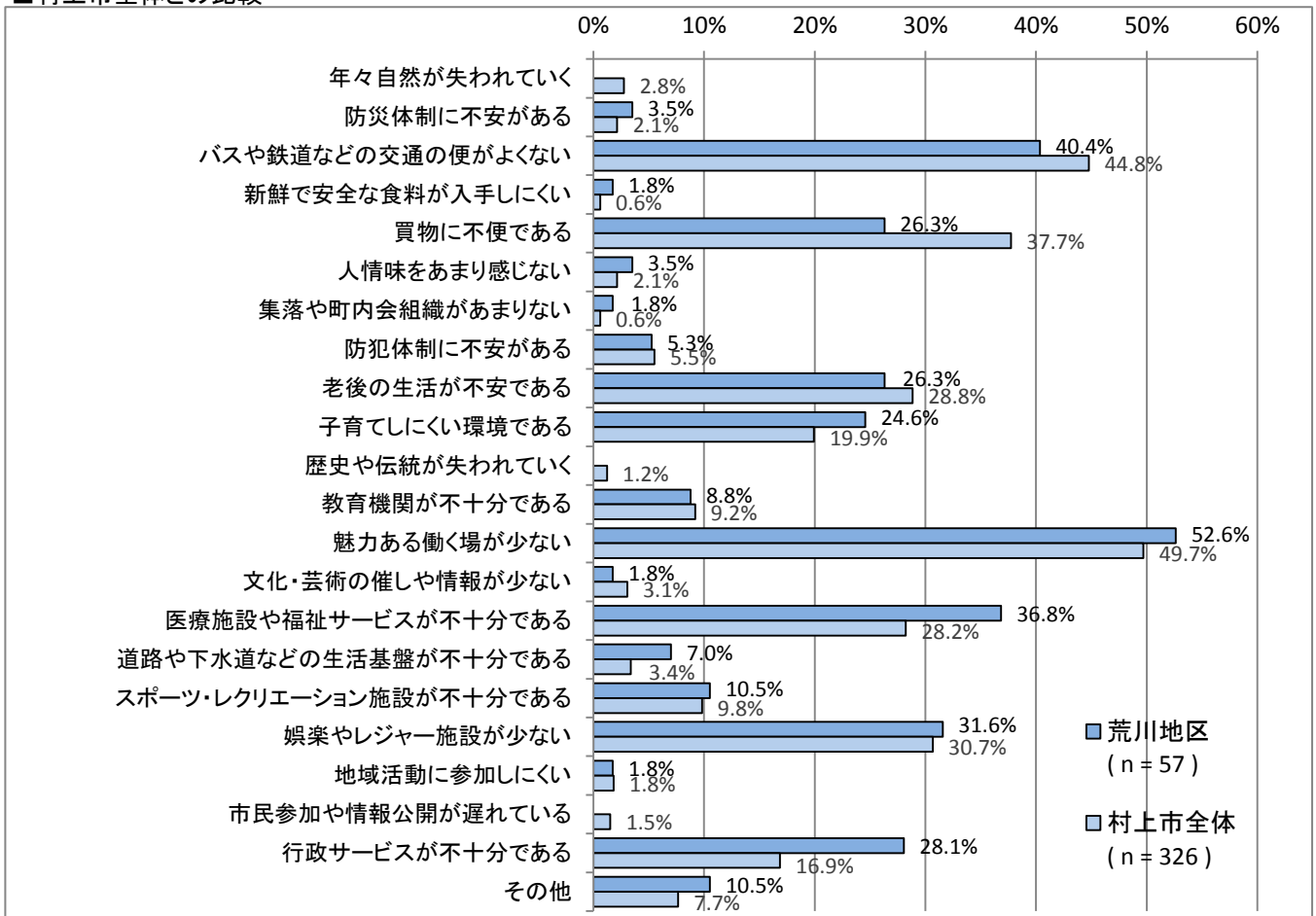


問10 住みにくいと感ずる理由 【3つまで選択】 (問8で3または4を選択した方のみ)

「魅力ある働く場が少ない」が最も多く、次いで「バスや鉄道などの交通の便がよくない」、「医療施設や福祉サービスが不十分である」となっている。
 村上市全体と比較すると、「買い物に不便である」と感じている人は少ないが、一方で医療施設や福祉サービスと行政サービスが不十分だと感じている人が多い。

選択肢	回答数	割合
1. 年々自然が失われていく	0	0.0%
2. 防災体制に不安がある	2	3.5%
3. バスや鉄道などの交通の便がよくない	23	40.4%
4. 新鮮で安全な食料が入手しにくい	1	1.8%
5. 買物に不便である	15	26.3%
6. 人情味をあまり感じない	2	3.5%
7. 集落や町内会組織があまりない	1	1.8%
8. 防犯体制に不安がある	3	5.3%
9. 老後の生活が不安である	15	26.3%
10. 子育てしにくい環境である	14	24.6%
11. 歴史や伝統が失われていく	0	0.0%
12. 教育機関が不十分である	5	8.8%
13. 魅力ある働く場が少ない	30	52.6%
14. 文化・芸術の催しや情報が少ない	1	1.8%
15. 医療施設や福祉サービスが不十分である	21	36.8%
16. 道路や下水道などの生活基盤が不十分である	4	7.0%
17. スポーツ・レクリエーション施設が不十分である	6	10.5%
18. 娯楽やレジャー施設が少ない	18	31.6%
19. 地域活動に参加しにくい	1	1.8%
20. 市民参加や情報公開が遅れている	0	0.0%
21. 行政サービスが不十分である	16	28.1%
22. その他	6	10.5%
計	184	

■村上市全体との比較

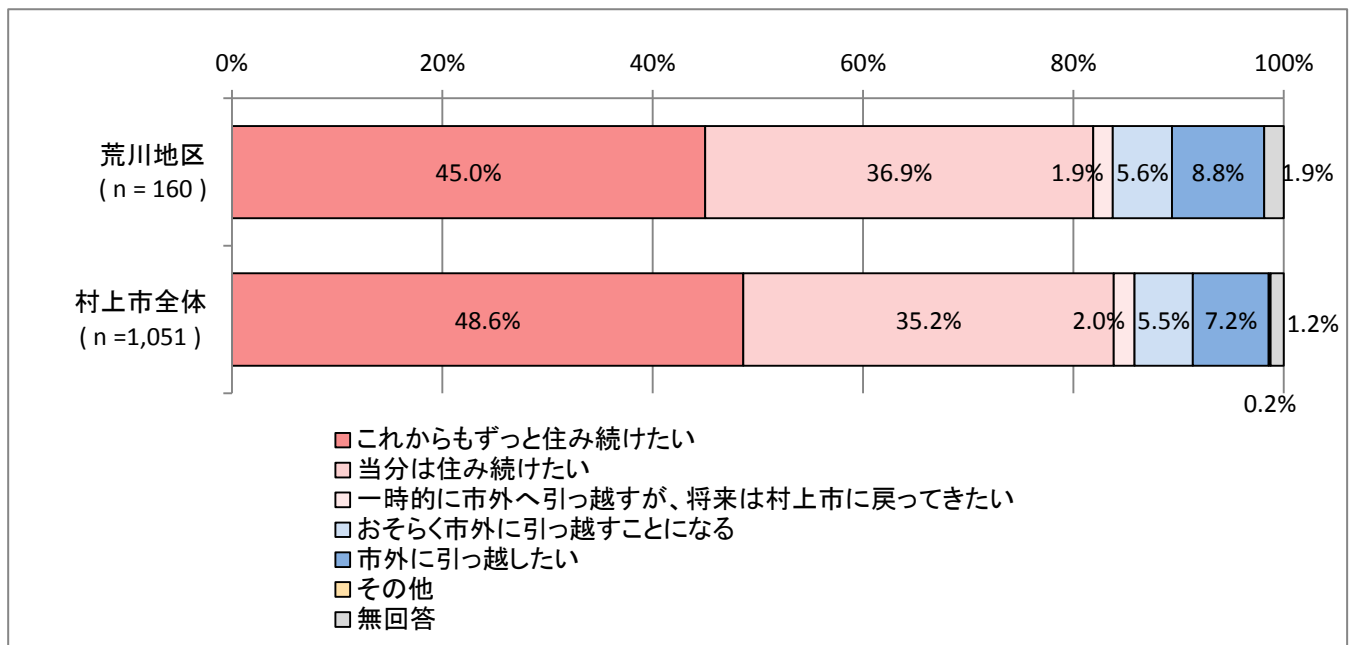


問11 これからも村上市に住み続けたいと思いますか？ 【1つだけ選択】

「これからもずっと住み続けたい」が45.0%で最も多く、次いで「当分は住み続けたい」(36.9%)が多い。
 村上市全体と比べると、「これからもずっと住み続けたい」がやや少なくなっている。

選択肢	回答数	割合
1. これからもずっと住み続けたい	72	45.0%
2. 当分は住み続けたい	59	36.9%
3. 一時的に市外へ引っ越すが、将来は村上市に戻ってきたい	3	1.9%
4. おそらく市外に引っ越すことになる	9	5.6%
5. 市外に引っ越したい	14	8.8%
6. その他	0	0.0%
無回答	3	1.9%
計	160	100.0%

■村上市全体との比較

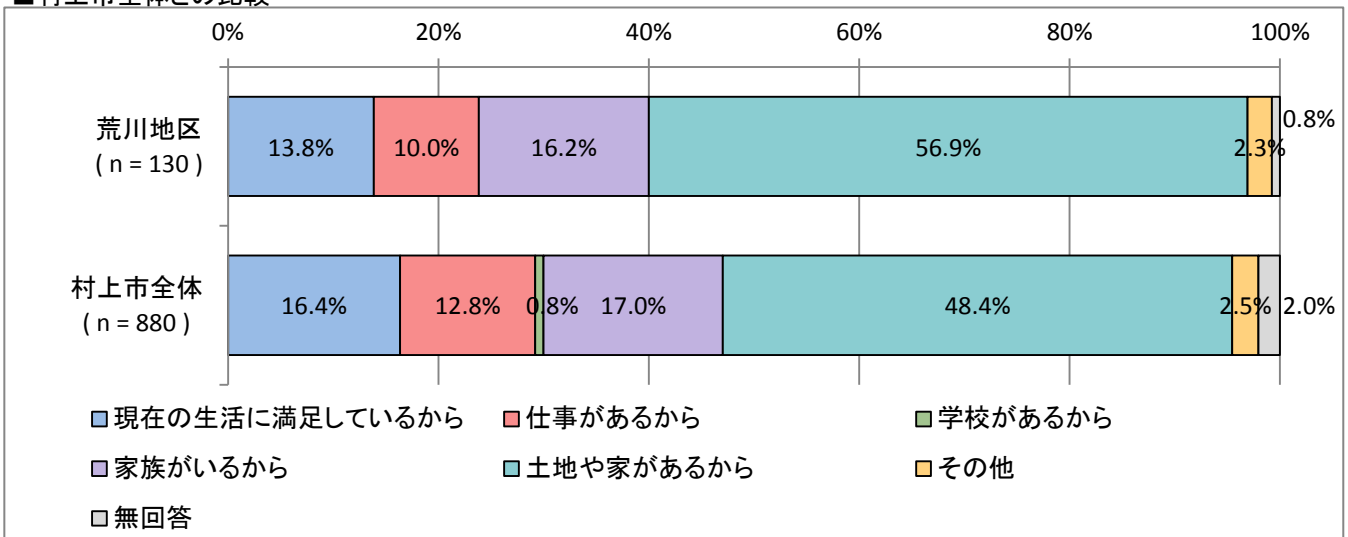


問12 住み続けたい・戻ってきたい理由 (問11で1から3を選択した方のみ)
【1つだけ選択】

「土地や家があるから」が56.9%で半数以上を占めており、次いで「家族がいるから」(16.2%)が多い。
村上市全体と比べると、「土地や家があるから」が多くなっている。

選択肢	回答数	割合
1. 現在の生活に満足しているから	18	13.8%
2. 仕事があるから	13	10.0%
3. 学校があるから	0	0.0%
4. 家族がいるから	21	16.2%
5. 土地や家があるから	74	56.9%
6. その他	3	2.3%
無回答	1	0.8%
計	130	100.0%
無効	4	

■村上市全体との比較

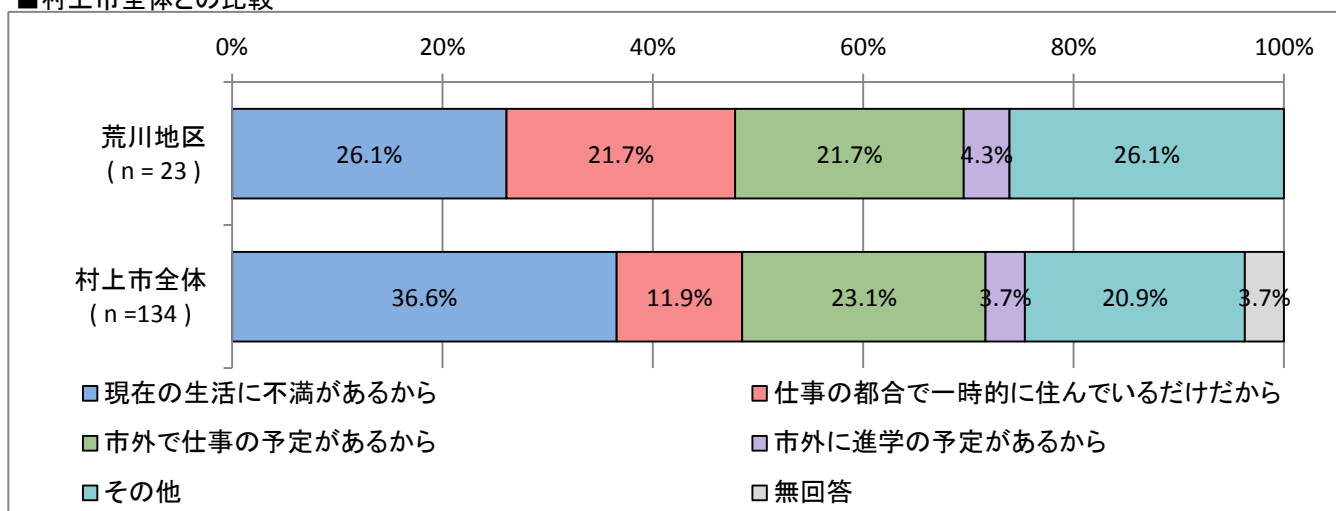


問13 引っ越す理由（問11で4または5を選択した方のみ）
【1つだけ選択】

「現在の生活に不満があるから」が最も多く、次いで「仕事の都合で一時的に住んでいるだけだから」と「市外で仕事の予定（仕事をしたい）があるから」が多い。
村上市全体と比べて、「仕事の都合で一時的に住んでいるだけだから」が多い。

選択肢	回答数	割合
1. 現在の生活に不満があるから	6	26.1%
2. 仕事の都合で一時的に住んでいるだけだから	5	21.7%
3. 市外で仕事の予定（仕事をしたい）があるから	5	21.7%
4. 市外に進学の予定（進学したい）があるから	1	4.3%
5. その他	6	26.1%
無回答	0	0.0%
計	23	100.0%

■村上市全体との比較



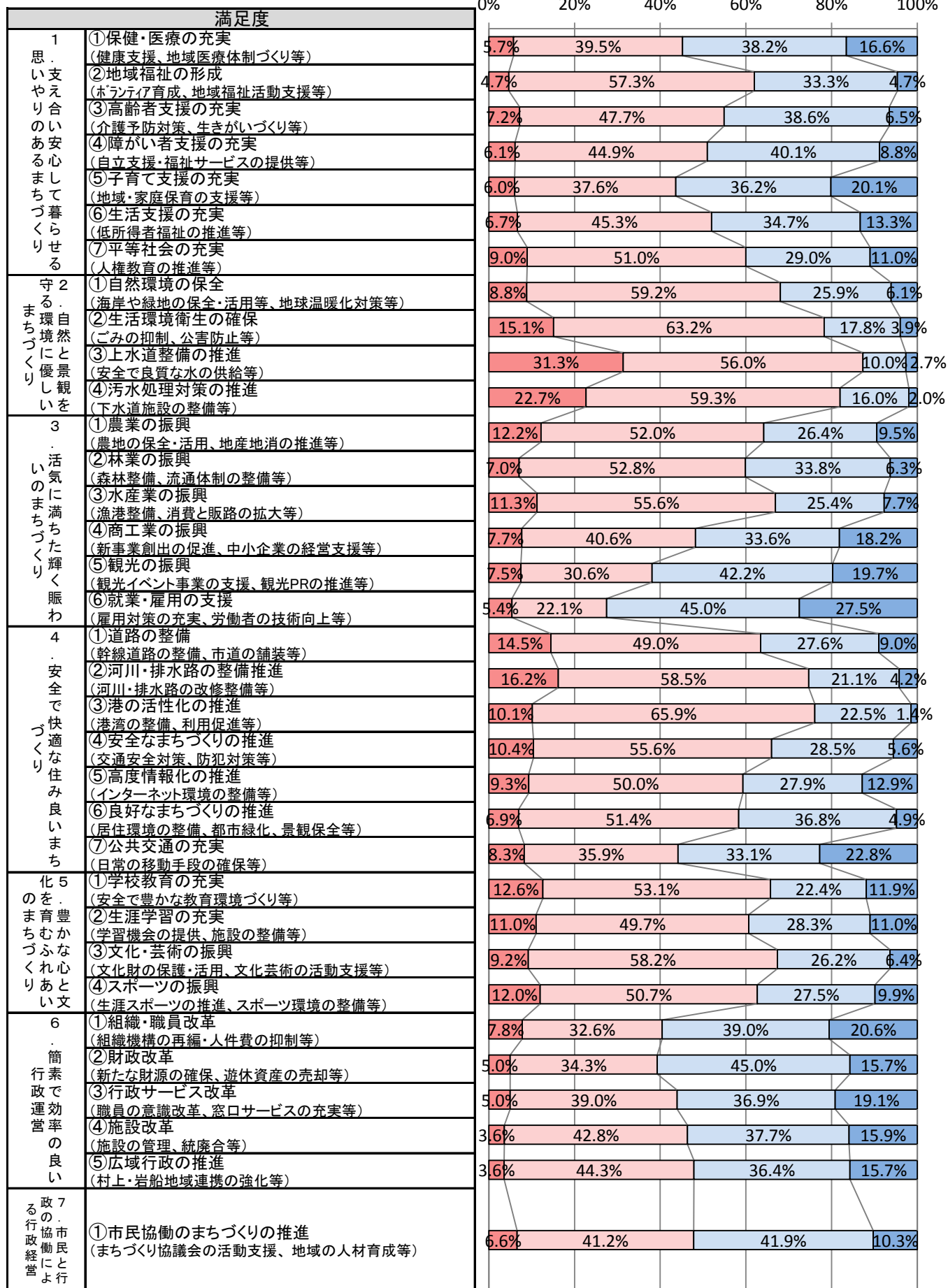
3. 村上市の暮らしについて、おたずねします。

問14-① 満足度

「満足」の割合が特に多いのは「上水道整備の推進」(31.3%)、「汚水処理対策の推進」(22.7%)であり、「不満」の割合が多いのは、「就業・雇用の支援」(27.5%)、「公共交通の充実」(22.8%)であった。

満足度		満足	どちらか 満足	どちらか 不満	不満
1 暮らしを支える まちづくりの 思いやりを あきらめず 進めよう	①保健・医療の充実(健康支援、地域医療体制づくり等)	9	62	60	26
	②地域福祉の形成(ボランティア育成、地域福祉活動支援等)	7	86	50	7
	③高齢者支援の充実(介護予防対策、生きがいづくり等)	11	73	59	10
	④障がい者支援の充実(自立支援・福祉サービスの提供等)	9	66	59	13
	⑤子育て支援の充実(地域・家庭保育の支援等)	9	56	54	30
	⑥生活支援の充実(低所得者福祉の推進等)	10	68	52	20
	⑦平等社会の充実(人権教育の推進等)	13	74	42	16
2 自然環境と 景観を 大切に 守り つくり たい	①自然環境の保全(海岸や緑地の保全・活用等、地球温暖化対策等)	13	87	38	9
	②生活環境衛生の確保(ごみの抑制、公害防止等)	23	96	27	6
	③上水道整備の推進(安全で良質な水の供給等)	47	84	15	4
	④汚水処理対策の推進(下水道施設の整備等)	34	89	24	3
3 活気あふ るまち づくり を 進めよう	①農業の振興(農地の保全・活用、地産地消の推進等)	18	77	39	14
	②林業の振興(森林整備、流通体制の整備等)	10	75	48	9
	③水産業の振興(漁港整備、消費と販路の拡大等)	16	79	36	11
	④商工業の振興(新事業創出の促進、中小企業の経営支援等)	11	58	48	26
	⑤観光の振興(観光イベント事業の支援、観光PRの推進等)	11	45	62	29
	⑥就業・雇用の支援(雇用対策の充実、労働者の技術向上等)	8	33	67	41
4 安全で 快適な まちづくり を 進めよう	①道路の整備(幹線道路の整備、市道の舗装等)	21	71	40	13
	②河川・排水路の整備推進(河川・排水路の改修整備等)	23	83	30	6
	③港の活性化の推進(港湾の整備、利用促進等)	14	91	31	2
	④安全なまちづくりの推進(交通安全対策、防犯対策等)	15	80	41	8
	⑤高度情報化の推進(インターネット環境の整備等)	13	70	39	18
	⑥良好なまちづくりの推進(居住環境の整備、都市緑化、景観保全等)	10	74	53	7
	⑦公共交通の充実(日常の移動手段の確保等)	12	52	48	33
5 豊かな 文化を つくり たい	①学校教育の充実(安全で豊かな教育環境づくり等)	18	76	32	17
	②生涯学習の充実(学習機会の提供、施設の整備等)	16	72	41	16
	③文化・芸術の振興(文化財の保護・活用、文化芸術の活動支援等)	13	82	37	9
	④スポーツの振興(生涯スポーツの推進、スポーツ環境の整備等)	17	72	39	14
6 行政運営 の効率 を 高めよう	①組織・職員改革(組織機構の再編・人件費の抑制等)	11	46	55	29
	②財政改革(新たな財源の確保、遊休資産の売却等)	7	48	63	22
	③行政サービス改革(職員の意識改革、窓口サービスの充実等)	7	55	52	27
	④施設改革(施設の管理、統廃合等)	5	59	52	22
	⑤広域行政の推進(村上・岩船地域連携の強化等)	5	62	51	22
7 行政運営 の効率 を 高めよう	①市民協働のまちづくりの推進 (まちづくり協議会の活動支援、地域の人材育成等)	9	56	57	14

■ 満足
 □ どちらかと言えば満足
 □ どちらかと言えば不満
 ■ 不満

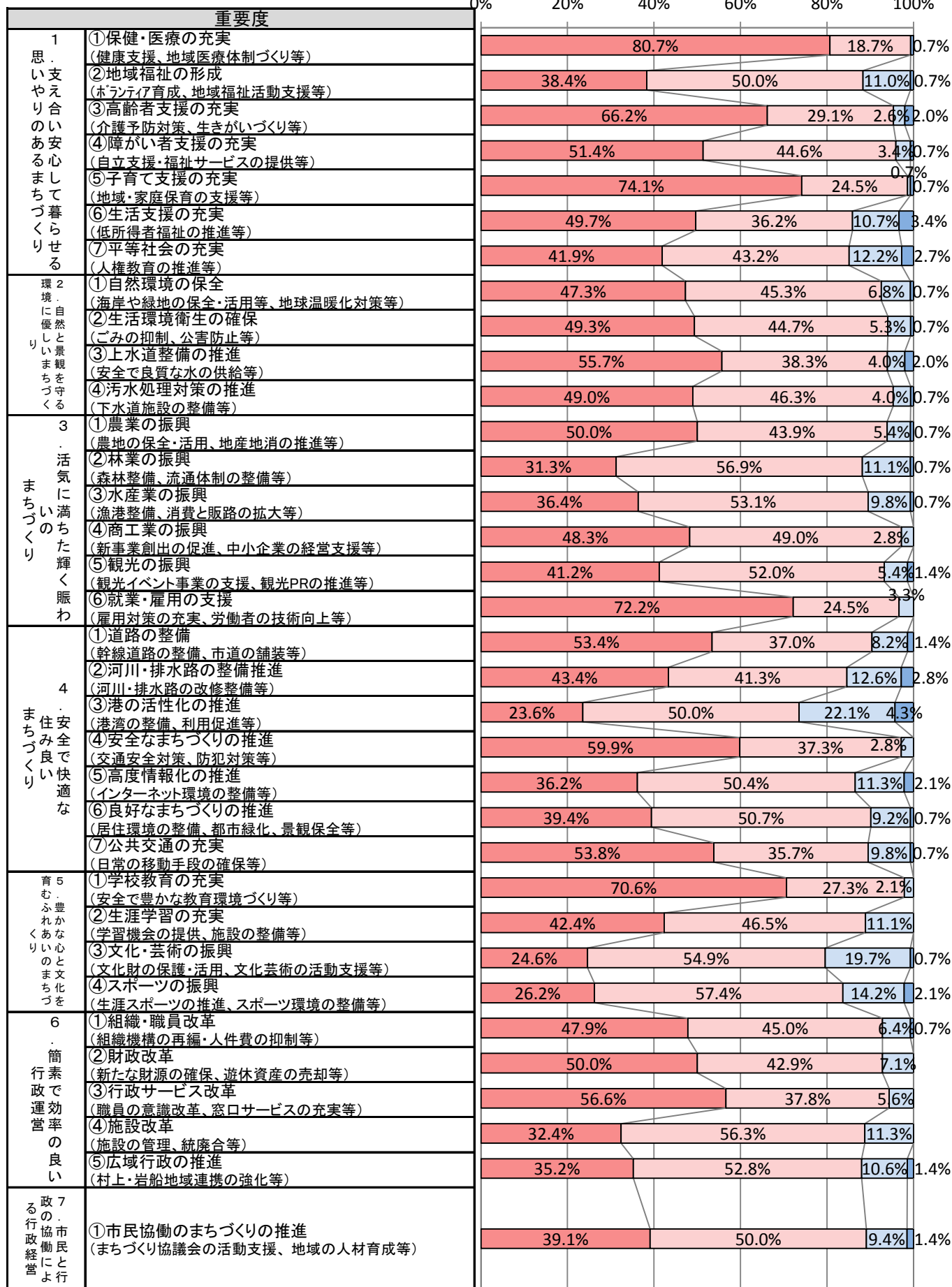


問14-② 重要度

「重要」の割合が特に多いのは「保健・医療の充実」（80.7%）、「子育て支援の充実」（74.1%）、「就業・雇用の支援」（72.2%）、「学校教育の充実」（70.6%）、「高齢者支援の充実」（66.2%）であった。

満足度		重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない
1 暮らしを支えるための安心・安全の確保	①保健・医療の充実(健康支援、地域医療体制づくり等)	121	28	0	1
	②地域福祉の形成(ボランティア育成、地域福祉活動支援等)	56	73	16	1
	③高齢者支援の充実(介護予防対策、生きがいづくり等)	100	44	4	3
	④障がい者支援の充実(自立支援・福祉サービスの提供等)	76	66	5	1
	⑤子育て支援の充実(地域・家庭保育の支援等)	109	36	1	1
	⑥生活支援の充実(低所得者福祉の推進等)	74	54	16	5
	⑦平等社会の充実(人権教育の推進等)	62	64	18	4
2 しをまもり、自然環境と景観を大切に	①自然環境の保全(海岸や緑地の保全・活用等、地球温暖化対策等)	70	67	10	1
	②生活環境衛生の確保(ごみの抑制、公害防止等)	75	68	8	1
	③上水道整備の推進(安全で良質な水の供給等)	83	57	6	3
	④汚水処理対策の推進(下水道施設の整備等)	73	69	6	1
3 まちなかを活性化させる	①農業の振興(農地の保全・活用、地産地消の推進等)	74	65	8	1
	②林業の振興(森林整備、流通体制の整備等)	45	82	16	1
	③水産業の振興(漁港整備、消費と販路の拡大等)	52	76	14	1
	④商工業の振興(新事業創出の促進、中小企業の経営支援等)	70	71	4	0
	⑤観光の振興(観光イベント事業の支援、観光PRの推進等)	61	77	8	2
	⑥就業・雇用の支援(雇用対策の充実、労働者の技術向上等)	109	37	5	0
4 まちなかを安全で快適に暮らす	①道路の整備(幹線道路の整備、市道の舗装等)	78	54	12	2
	②河川・排水路の整備推進(河川・排水路の改修整備等)	62	59	18	4
	③港の活性化の推進(港湾の整備、利用促進等)	33	70	31	6
	④安全なまちづくりの推進(交通安全対策、防犯対策等)	85	53	4	0
	⑤高度情報化の推進(インターネット環境の整備等)	51	71	16	3
	⑥良好なまちづくりの推進(居住環境の整備、都市緑化、景観保全等)	56	72	13	1
	⑦公共交通の充実(日常の移動手段の確保等)	77	51	14	1
5 あなただけの文化を育む	①学校教育の充実(安全で豊かな教育環境づくり等)	101	39	3	0
	②生涯学習の充実(学習機会の提供、施設の整備等)	61	67	16	0
	③文化・芸術の振興(文化財の保護・活用、文化芸術の活動支援等)	35	78	28	1
	④スポーツの振興(生涯スポーツの推進、スポーツ環境の整備等)	37	81	20	3
6 行政運営の効率化	①組織・職員改革(組織機構の再編・人件費の抑制等)	67	63	9	1
	②財政改革(新たな財源の確保、遊休資産の売却等)	70	60	10	0
	③行政サービス改革(職員の意識改革、窓口サービスの充実等)	81	54	8	0
	④施設改革(施設の管理、統廃合等)	46	80	16	0
	⑤広域行政の推進(村上・岩船地域連携の強化等)	50	75	15	2
7 行政運営の協働	①市民協働のまちづくりの推進(まちづくり協議会の活動支援、地域の人材育成等)	54	69	13	2

■重要 0% □やや重要 20% □あまり重要でない 40% □重要でない 60% 80% 100%



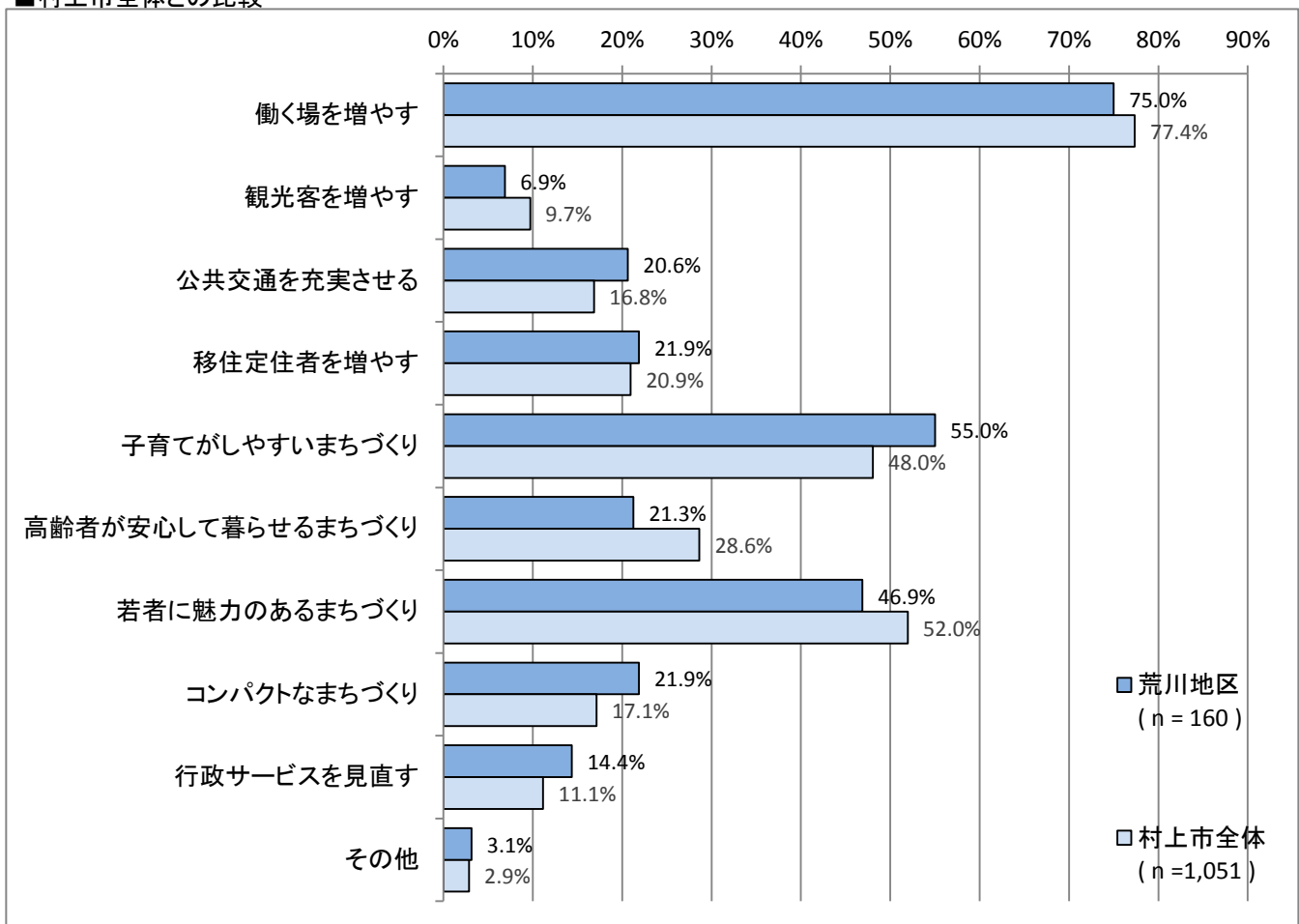
4. 今後のまちづくりについて、おたずねします。

問15 将来人口予測を踏まえて、今後、どのようなことが必要だと思いますか？
【3つまで選択】

「働く場を増やす」が最も多く、次いで「子育てがしやすいまちづくり」、「若者に魅力のあるまちづくり」となっている。
村上市全体と比較して、「子育てがしやすいまちづくり」が多く、「高齢者が安心して暮らせるまちづくり」が少なくなっている。

選択肢	回答数	割合
1. 働く場を増やす	120	75.0%
2. 観光客を増やす	11	6.9%
3. 公共交通を充実させる	33	20.6%
4. 移住定住者を増やす	35	21.9%
5. 子育てがしやすいまちづくり	88	55.0%
6. 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	34	21.3%
7. 若者に魅力のあるまちづくり	75	46.9%
8. コンパクトなまちづくり	35	21.9%
9. 行政サービスを見直す	23	14.4%
10. その他	5	3.1%
計	459	

■村上市全体との比較

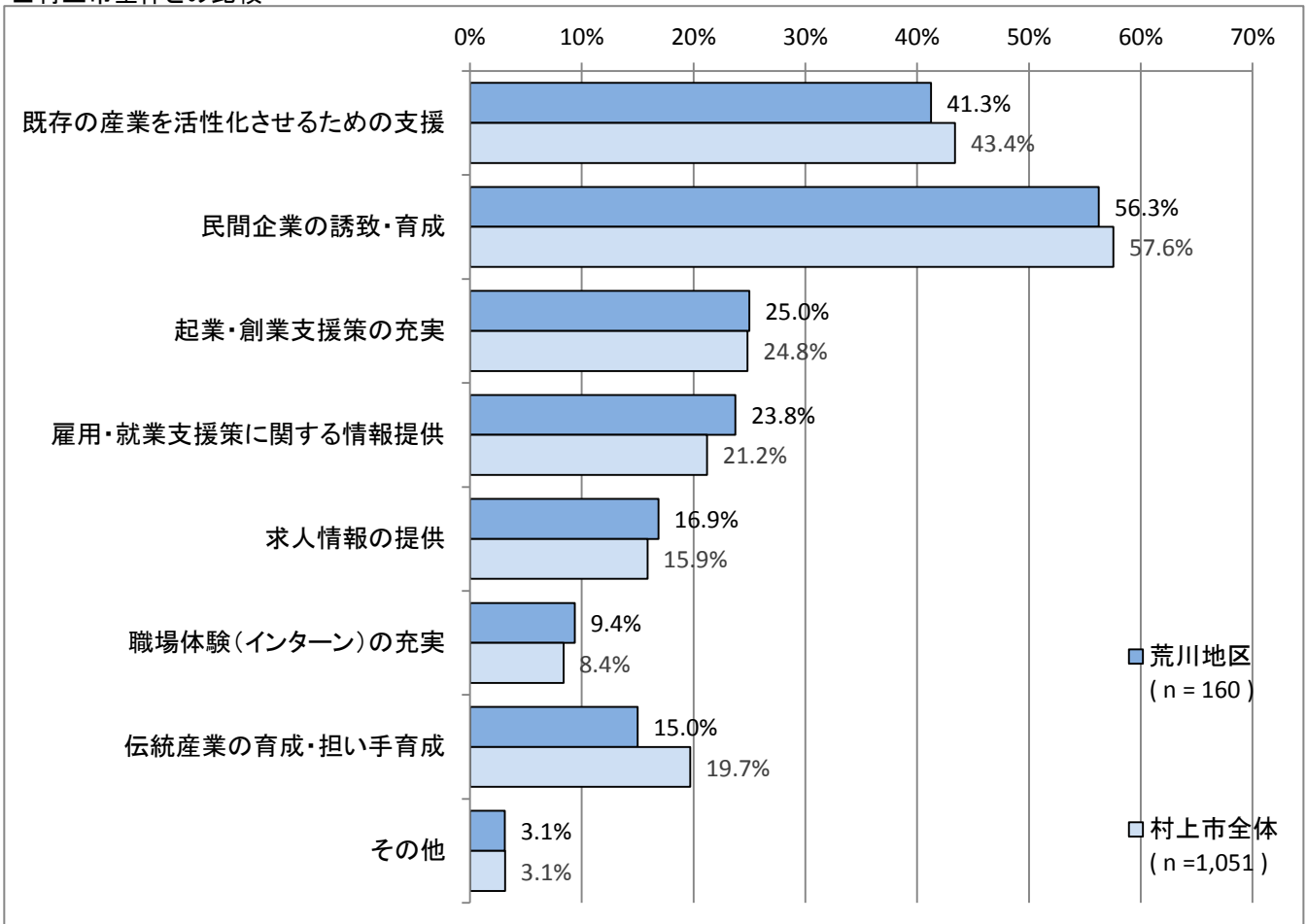


問16 安定した雇用の創出のためには、何が重要だと思いますか？
【2つまで選択】

「民間企業の誘致・育成」が最も多く、次いで「既存の産業を活性化させるための支援」、「起業・創業支援策の充実」が多くなっている。
村上市全体と比較して、「伝統産業の育成・担い手育成」が少なくなっている。

選択肢	回答数	割合
1. 既存の産業を活性化させるための支援	66	41.3%
2. 民間企業の誘致・育成	90	56.3%
3. 起業・創業支援策の充実	40	25.0%
4. 雇用・就業支援策に関する情報提供	38	23.8%
5. 求人情報の提供	27	16.9%
6. 職場体験(インターン)の充実	15	9.4%
7. 伝統産業の育成・担い手育成	24	15.0%
8. その他	5	3.1%
計	305	

■村上市全体との比較

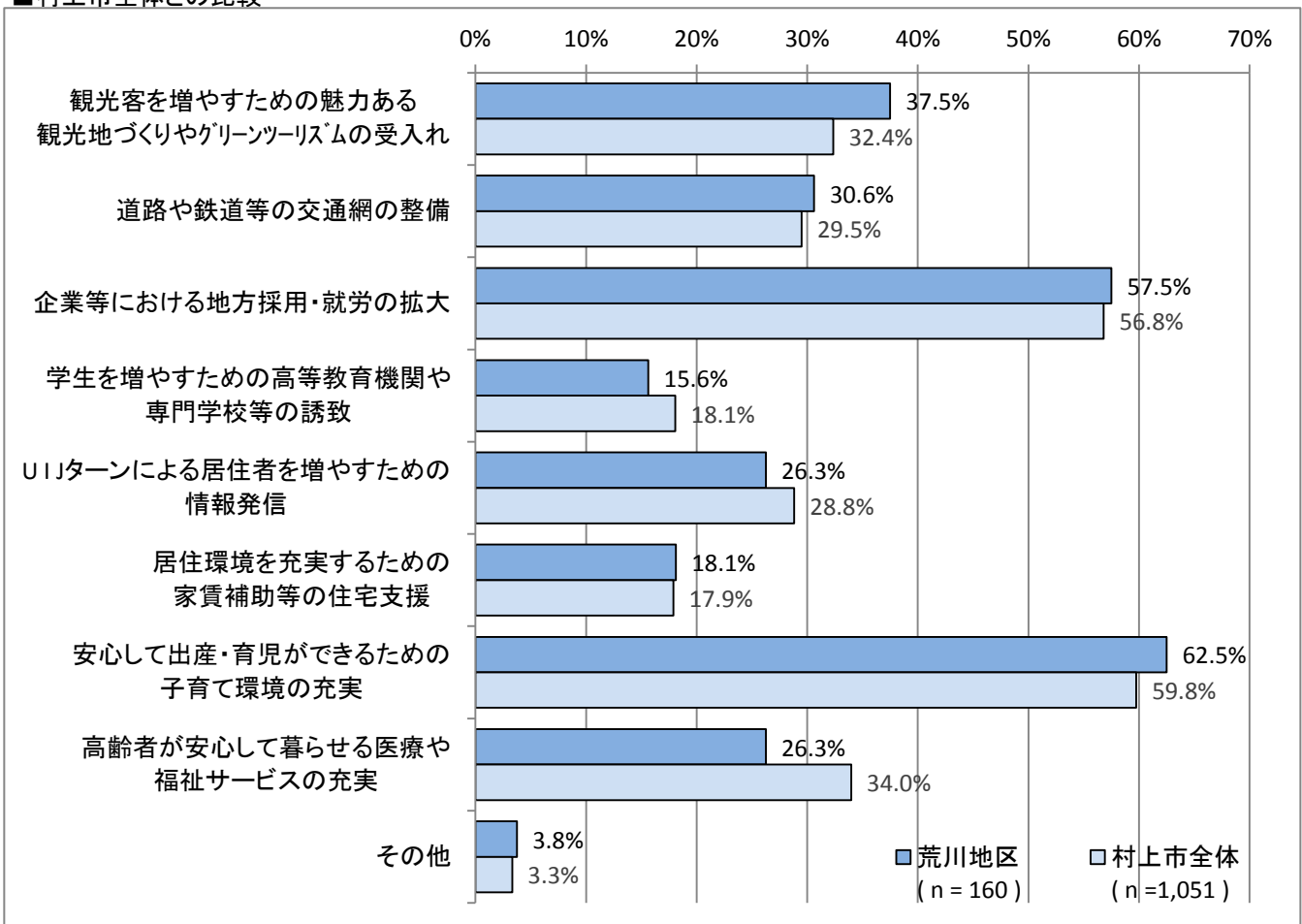


問17 市外から訪れてもらう・住んでもらうためには、何が重要だと思いますか？
【3つまで選択】

「安心して出産・育児ができるための子育て環境の充実」、「企業等における地方採用・就労の拡大」が特に多くなっている。
村上市全体と比較して、「観光客を増やすための魅力ある観光地づくりやグリーンツーリズムの受入れ」が多く、「高齢者が安心して暮らせる医療や福祉サービスの充実」が少なくなっている。

選択肢	回答数	割合
1. 観光客を増やすための魅力ある観光地づくりやグリーンツーリズムの受入れ	60	37.5%
2. 道路や鉄道等の交通網の整備	49	30.6%
3. 企業等における地方採用・就労の拡大	92	57.5%
4. 学生を増やすための高等教育機関や専門学校等の誘致	25	15.6%
5. UIターンによる居住者を増やすための情報発信	42	26.3%
6. 居住環境を充実するための家賃補助等の住宅支援	29	18.1%
7. 安心して出産・育児ができるための子育て環境の充実	100	62.5%
8. 高齢者が安心して暮らせる医療や福祉サービスの充実	42	26.3%
9. その他	6	3.8%
計	445	

■村上市全体との比較

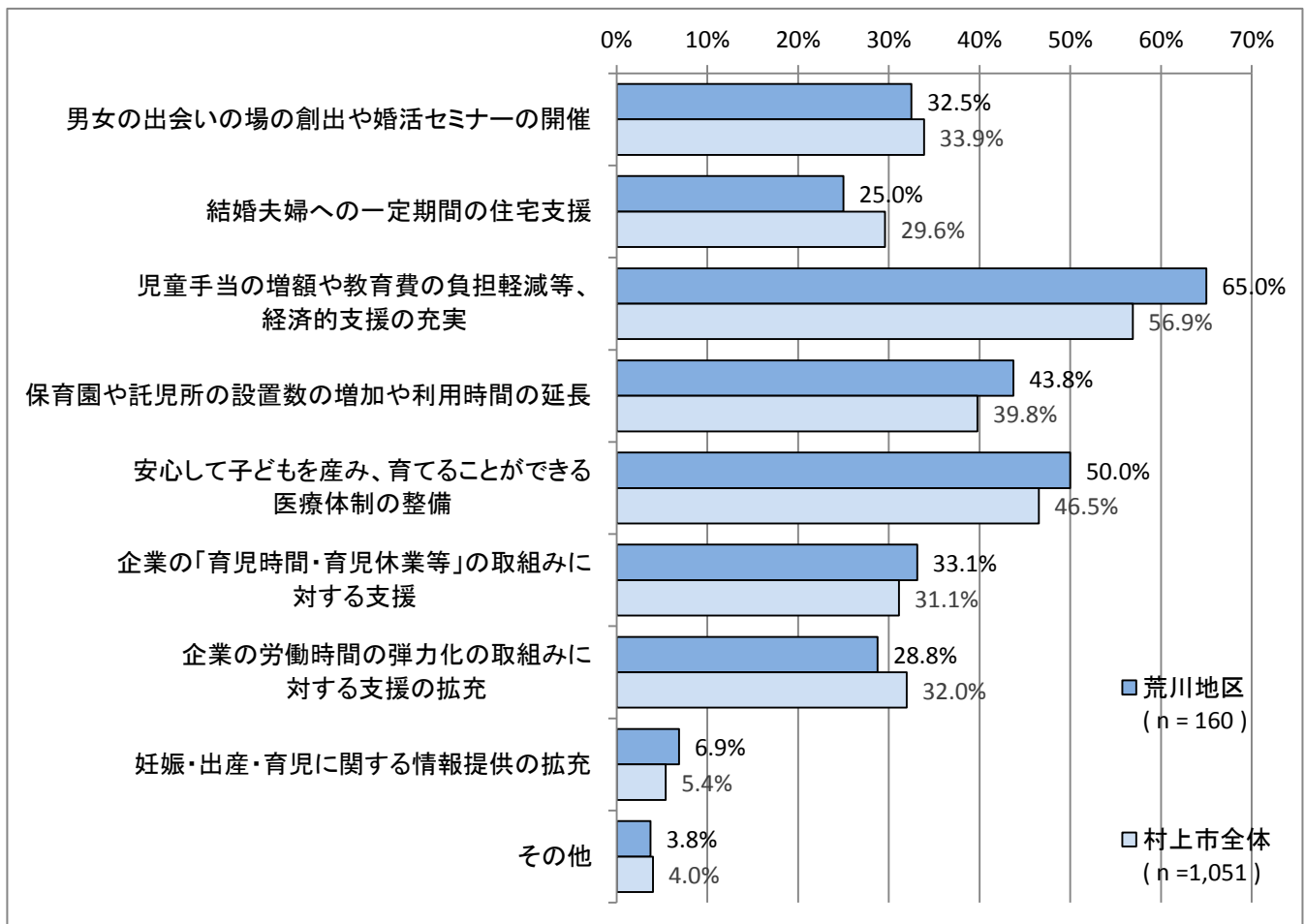


問18 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるためには、何が重要だと思いますか？【3つまで選択】

「児童手当の増額や教育費の負担軽減等、経済的支援の充実」が最も多く、次いで「安心して子どもを産み、育てることができる医療体制の整備」、「保育園や託児所の設置数の増加や利用時間の延長」が多くなっている。
 村上市全体と比較し、「児童手当の増額や教育費の負担軽減等、経済的支援の充実」が多くなっている。

選択肢	回答数	割合
1. 男女の出会いの場の創出や婚活セミナーの開催	52	32.5%
2. 結婚夫婦への一定期間の住宅支援(家賃補助、住宅ローンの利子補給等)	40	25.0%
3. 児童手当の増額や教育費の負担軽減等、経済的支援の充実	104	65.0%
4. 保育園や託児所の設置数の増加や利用時間の延長	70	43.8%
5. 安心して子どもを産み、育てることができる医療体制の整備	80	50.0%
6. 企業の「育児時間・育児休業等」の取組みに対する支援	53	33.1%
7. 企業の労働時間の弾力化(ワークライフバランスの推進、フレックスタイム制度導入等)の取組みに対する支援の拡充	46	28.8%
8. 妊娠・出産・育児に関する情報提供の拡充	11	6.9%
9. その他	6	3.8%
計	462	

■村上市全体との比較

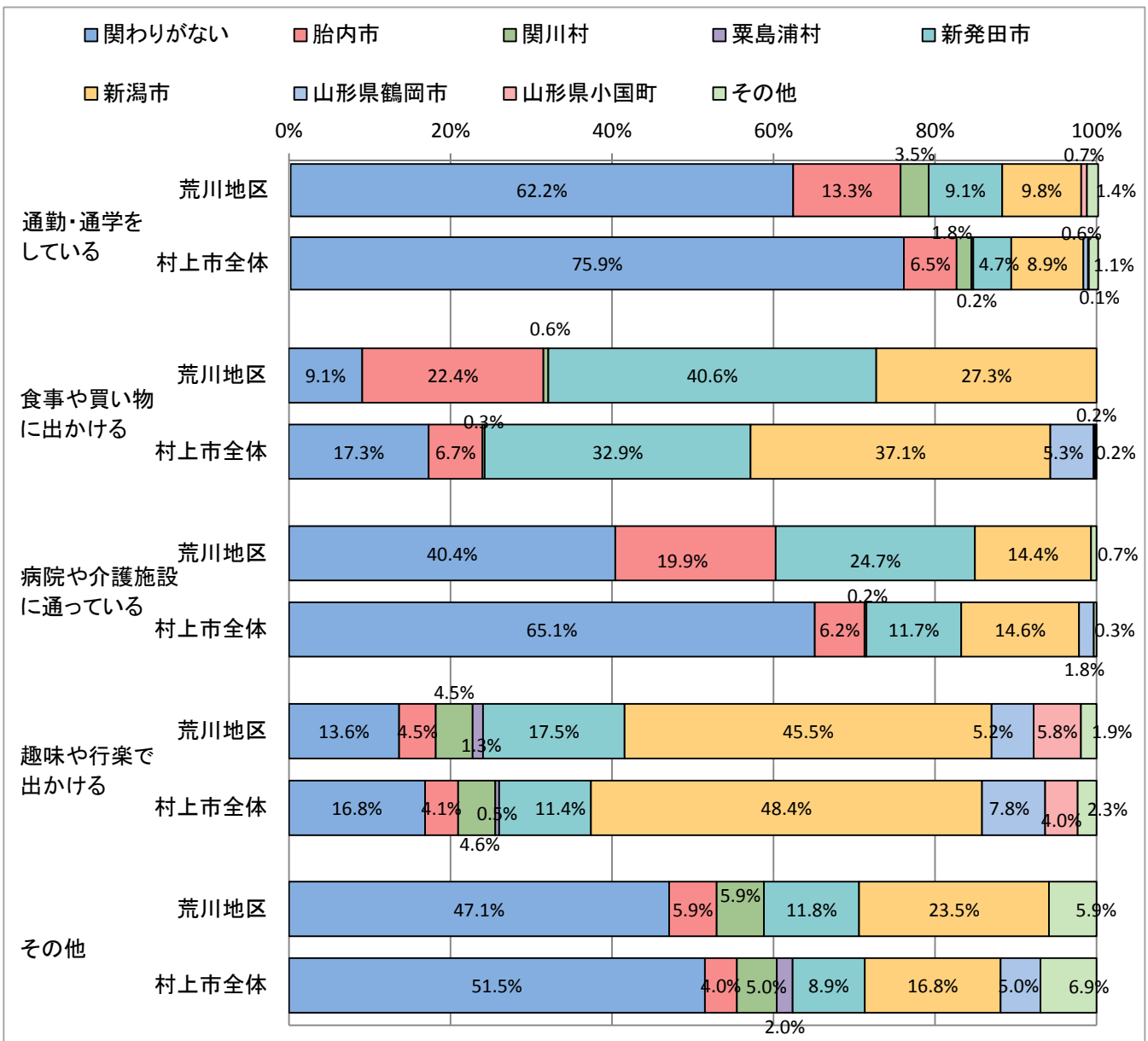


問19 村上市以外の近隣市町村との関わりがありますか？
【それぞれ1つ選択】2つ以上選択したものも含む

通勤・通学では、他市との関わりがない人が半数以上であり、食事や買物では新発田市と、趣味や行楽では新潟市との関わりが多い。
村上市全体と比較して、通勤や通学、病院や介護施設で他市との関わりがない人が少なく、新発田市や胎内市と関わりのある人が多くなっている。

	関わりがない	胎内市	関川村	粟島浦村	新発田市	新潟市	山形県鶴岡市	山形県小国町	その他
1. 通勤・通学をしている	89	19	5	0	13	14	0	1	2
2. 食事や買い物に出かける	15	37	1	0	67	45	0	0	0
3. 病院や介護施設に通っている	59	29	0	0	36	21	0	0	1
4. 趣味や行楽で出かける	21	7	7	2	27	70	8	9	3
5. その他	8	1	1	0	2	4	0	0	1

■村上市全体との比較

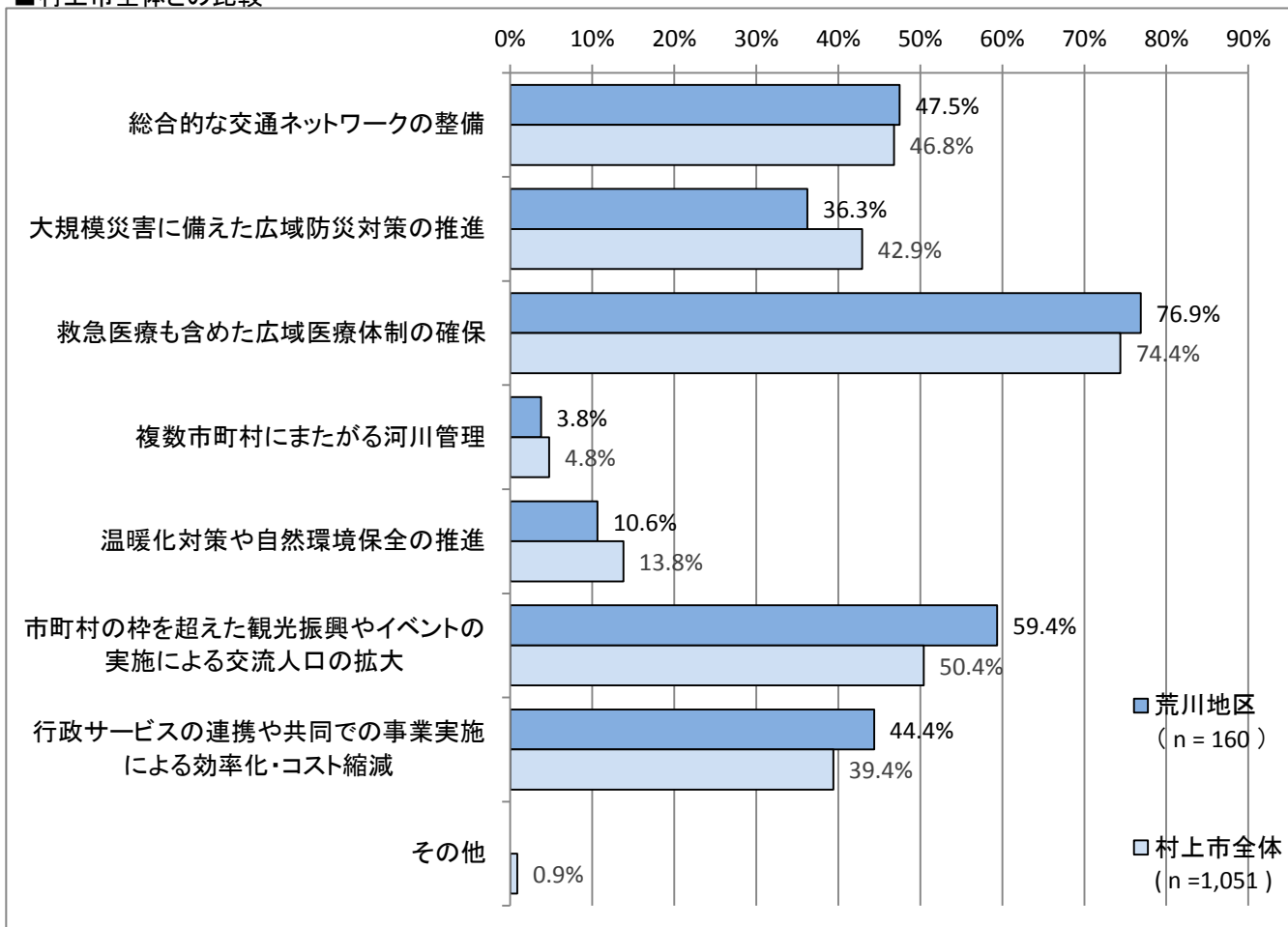


問20 他市町村との連携において、何が重要だと思えますか？
【3つまで選択】

「救急医療も含めた広域医療体制の確保」（76.9%）が特に多く、次いで「市町村の枠を超えた観光振興やイベントの実施による交流人口の拡大」が多くなっている。
村上市全体と比較し、「大規模災害に備えた広域防災対策の推進」が少なく、「市町村の枠を超えた観光振興やイベントの実施による交流人口の拡大」が多くなっている。

選択肢	回答数	割合
1. 総合的な交通ネットワークの整備	76	47.5%
2. 大規模災害に備えた広域防災対策の推進	58	36.3%
3. 救急医療も含めた広域医療体制の確保	123	76.9%
4. 複数市町村にまたがる河川管理	6	3.8%
5. 温暖化対策や自然環境保全の推進	17	10.6%
6. 市町村の枠を超えた観光振興やイベントの実施による交流人口の拡大	95	59.4%
7. 行政サービスの連携や共同での事業実施による効率化・コスト縮減	71	44.4%
8. その他	0	0.0%
計	446	

■村上市全体との比較



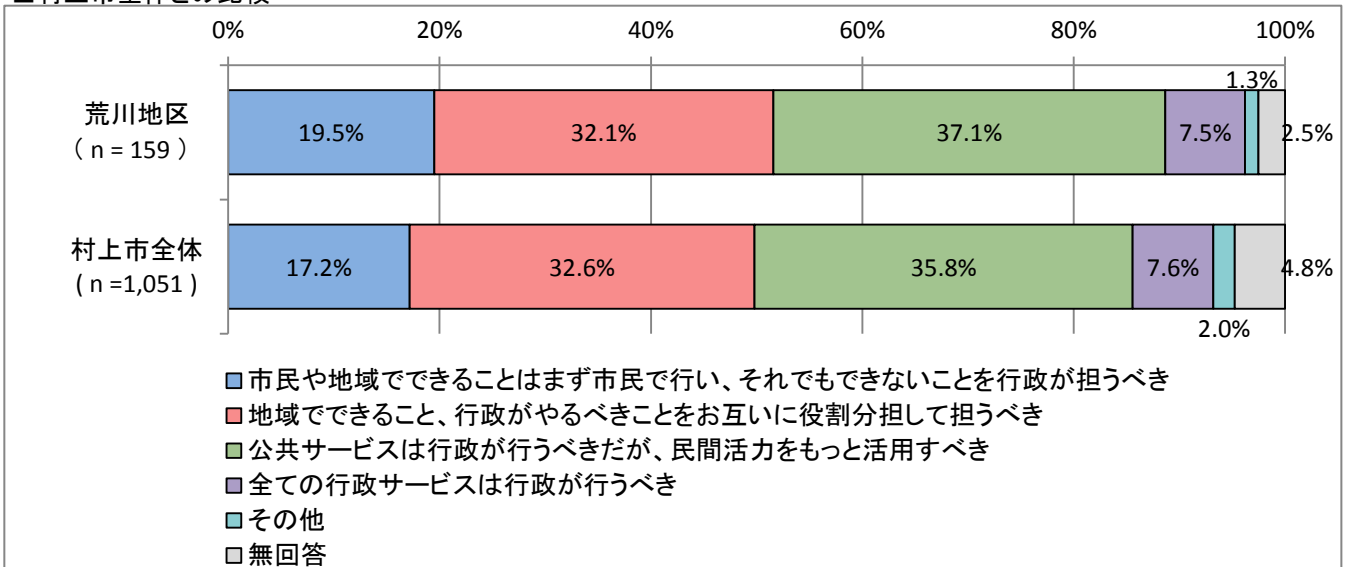
5. 行政運営や住民参加について、おたずねします。

問21 これからのまちづくりについて、どのようにお考えですか？
【1つだけ選択】

「公共サービスは行政が行うべきだが、民間活力をもっと活用すべき」（37.1%）と「地域でできること、行政がやるべきことをお互いに役割分担して担うべき」（32.1%）が多くなっている。村上市全体とほぼ同様の傾向である。

選択肢	回答数	割合
1. 市民や地域でできることはまず市民で行い、それでできないことを行政が担うべき	31	19.5%
2. 地域でできること、行政がやるべきことをお互いに役割分担して担うべき	51	32.1%
3. 公共サービスは行政が行うべきだが、民間活力をもっと活用すべき	59	37.1%
4. 全ての行政サービスは行政が行うべき	12	7.5%
5. その他	2	1.3%
6. 無回答	4	2.5%
計	159	100.0%
無効	1	

■村上市全体との比較

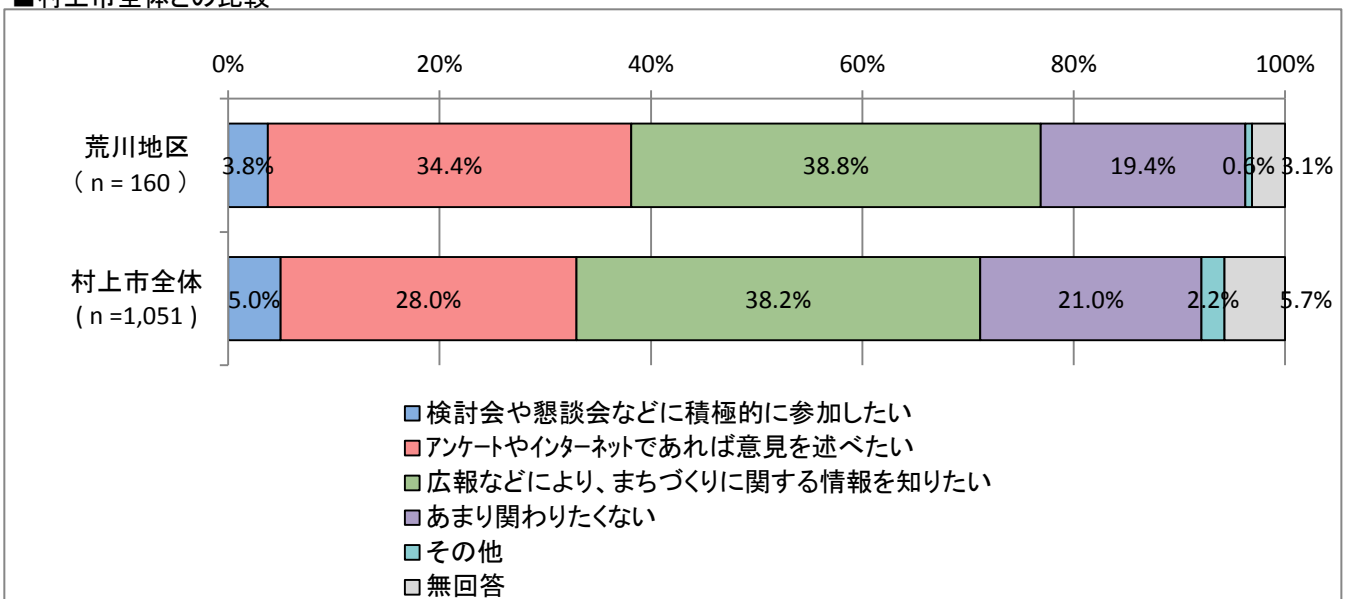


問22 行政と協働する機会があった場合、参加したいと思いますか？
【1つだけ選択】

「広報などにより、まちづくりに関する情報を知りたい」（38.8%）が最も多く、次いで「アンケートやインターネットであれば意見を述べたい」（34.4%）が多い。
村上市全体と比較し、「アンケートやインターネットであれば意見を述べたい」が多くなっている。

選択肢	回答数	割合
1. 検討会や懇談会などに積極的に参加したい	6	3.8%
2. アンケートやインターネットであれば意見を述べたい	55	34.4%
3. 広報などにより、まちづくりに関する情報を知りたい	62	38.8%
4. あまり関わりたくない	31	19.4%
5. その他	1	0.6%
6. 無回答	5	3.1%
計	160	100.0%

■村上市全体との比較

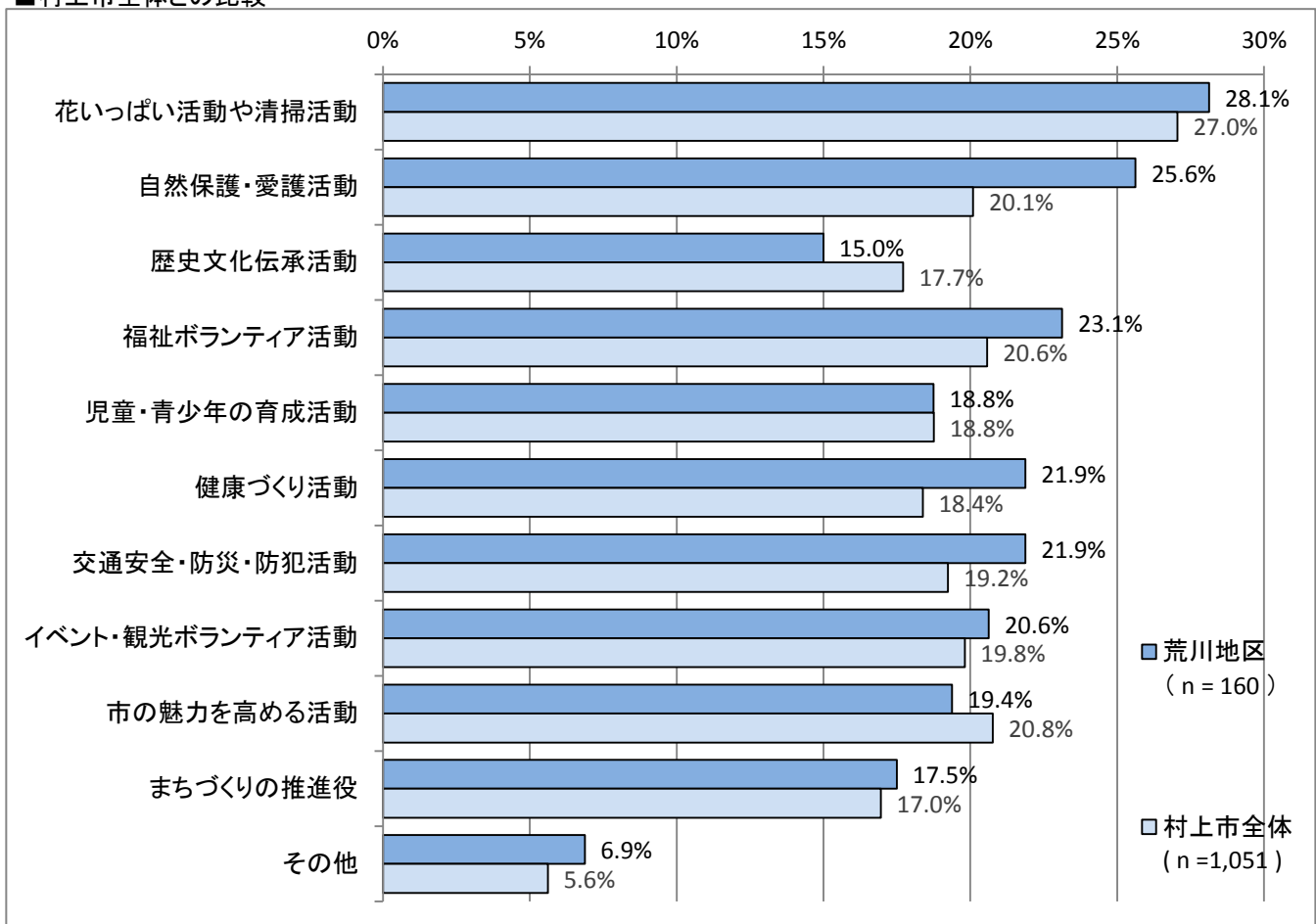


問23 どのようなまちづくり活動に参加したいですか（参加していますか）？
【あてはまるものすべて選択】

「花いっぱい活動や清掃活動」（28.1%）が最も多く、次いで「自然保護・愛護活動」（25.6%）、「福祉ボランティア活動」（23.1%）が多い。
村上市全体と比較して、「自然保護・愛護活動」が多くなっている。

選択肢	回答数	割合
1. 美しいまちをつくるための「花いっぱい活動や清掃活動」	45	28.1%
2. 地域の自然を守り育てる「自然保護・愛護活動」	41	25.6%
3. 郷土の歴史や文化を学び、後世に伝える「歴史文化伝承活動」	24	15.0%
4. 高齢者や障がい者を助ける「福祉ボランティア活動」	37	23.1%
5. 子ども会やPTA、健全育成組織などを通じた「児童・青少年の育成活動」	30	18.8%
6. スポーツ・保健事業への参加・協力などの「健康づくり活動」	35	21.9%
7. 安全で安心な暮らしを守る「交通安全・防災・防犯活動」	35	21.9%
8. 祭りやイベント行事、観光PRなどの「イベント・観光ボランティア活動」	33	20.6%
9. 特産品の開発やPRなどの「市の魅力を高める活動」	31	19.4%
10. まちづくりの企画・研究やリーダーなど「まちづくりの推進役」	28	17.5%
11. その他	11	6.9%
計	350	

■村上市全体との比較



報告（２）市民アンケート【荒川地区】の集計結果について

1. 村上市での住み心地について

- 約7割の人が村上市に愛着を感じている
- 約半数の人が住みやすいと感じている
- 住みやすい理由としては、主に以下の点が挙げられている
 - 「自然が豊か」
 - 「災害が少ない」
 - 「農林水産物に恵まれ食が豊か」
- 住みにくい理由としては、主に以下の点が挙げられている
 - 「魅力ある働く場が少ない」
 - 「バスや鉄道などの交通の便がよくない」
 - 「医療施設や福祉サービスが不十分である」
- 8割以上の人がこれからも村上市に住み続けたいと考えている
- 市外へ引っ越す理由としては、「仕事」が多い

2. 村上市の暮らしについて

- 満足度の高い主なものとして以下のものが挙げられている
 - 「上水道整備の推進」
 - 「汚水処理対策の推進」
 - 「河川・排水路の整備推進」
- 満足度の低い主なものとして以下のものが挙げられている
 - 「就業・雇用の支援」
 - 「公共交通の充実」
 - 「組織・職員改革」
- 重要度の高い主なものとして以下のものが挙げられている
 - 「保健・医療の充実」
 - 「子育て支援の充実」
 - 「就業・雇用の支援」

3. 今後のまちづくりについて

- 今後のまちづくりでは、働く場を増やすことや、子育てがしやすいまちづくり、若者に魅力のあるまちづくりが求められている
- 安定した雇用の創出には、民間企業の誘致・育成や既存の産業を活性化させるための支援が重要だと考えられている
- 市外の人に住んでもらうには、子育て環境の充実や採用・就労の拡大のほか魅力ある観光地づくりが重要だと考えられている
- 若い世代の結婚・出産・子育てには、教育費の負担軽減や子どもを産み、育てることができる医療体制の整備が重要だと考えられている
- 他市町村との連携には、広域医療体制の確保や観光振興等による交流人口の拡大が重要だと考えられている

4. 行政運営や住民参加について

- これからのまちづくりには、民間活力の活用や地域と行政の役割分担が重要だと考えられている
- 検討会や懇談会に参加したいと考えている人は3.8%に留まり、多くは「広報等で情報を知りたい」や「アンケートやインターネットで意見を述べたい」と考えている